

2018年6月15日  
日本たばこ産業株式会社

## **俳優北村匠海さん出演・MONGOL800のキヨサクさんが作曲の 新CMがスタート**

**たいせつな人への想いを歌にするJTの新企業広告『想うた』シリーズ**

**6月15日(金)から全国で放映開始  
日本テレビ系列『アナザースカイ』では、放送500回を記念して  
スペシャルバージョンを限定放映!**

日本たばこ産業株式会社(以下 JT、本社：東京都港区、代表取締役社長：寺畠 正道)は、新企業広告『想うた』シリーズをスタートいたします。このシリーズでは、とある一人の若者を主人公に、人と人がお互いに想い合う気持ちを、オリジナル楽曲に乗せて伝えていきます。

第一弾「想うた 親を想う」篇では、人気若手俳優の北村匠海（キタムラ タクミ）さんが、地方から上京して働く新社会人を演じています。主人公の親への想いを、MONGOL800のキヨサク(Vo&Ba)さんが歌い上げます。シンプルで心にストレートに届く歌詞で人々の気持ちを動かすCMに仕上がっています。

『想うた』シリーズスタートにあたり、JTの提供番組『アナザースカイ』の放送500回を記念して、6月15日(金)限定でスペシャルバージョンを放映いたします。スペシャルバージョンは、60秒・30秒CMよりも、登場人物の心の動きを丁寧に描いた作品となっています。CMは全国で放映開始。また、スペシャルサイトでは、全てのムービーをご覧いただけます。

『想うた』スペシャルサイト [https://www.jti.co.jp/omouta/?utm\\_source=release](https://www.jti.co.jp/omouta/?utm_source=release)



## ■新企業広告『想うた』シリーズについて

---

JTは、「ひとのときを、想う。」という企業思想のもと、「かけがえのないひととき」や「大切な時間」を想う企業だからこそ生み出せる価値を、お届けしたいと考えています。人が人を想うこと。自分のことだけではなく、人の気持ちを想像し、思い合い、認め合うこと。いま望まれているのは、そんな世の中なのかもしれません。そこで、たいせつな人への“想い”を“うた”にのせて届ける新企業広告『想うた』シリーズを展開します。

## ■第一弾「想うた 親を想う」篇の見どころ

---

- ストーリー：“北村匠海さん演じるクールな新入社員が、親を想う”  
第一弾「想うた 親を想う」篇で北村匠海さんが演じるのは、東京の商社に勤める新入社員「村上優人」。高校まで実家のある四国で過ごし、地方都市の大学を経て、就職とともに上京したという設定です。人当たりが良くまじめな性格ですが、クールな一面もあり、自己主張や本音を言うのは少し苦手。慣れない都会での初めての社会人生活を送る中、離れて暮らしていても支えてくれる親の大切さに気付いていきます。
- 楽曲  
CMで流れる楽曲の歌詞は、本CMのクリエイティブディレクターで、数々のCMソングを手掛ける篠原誠さんが担当。その歌詞を基にMONGOL800のキヨサク(Vo&Ba)さんが作曲し、歌い上げています。

**<ストーリーボード・楽曲歌詞・コメント等は次ページ以降をご確認ください>**

## ■ 第一弾「想うた 親を想う」篇ストーリーボード



日々の仕事に疲弊しながら帰宅した主人公(北村匠海)。実家からの仕送りを見て、心と家族と過ごした時間を思い出す。シーンが高校時代に移り、楽曲「想うた」(作曲:キョサク/MONGOL800)が流れる。



木工所で働く父の背中。とくに会話はなかった夕食の時間。駅まで送ってくれた上京の日。一日一日を振り返る。



離れていても気にしてくれる父と母。毎日の仕事に追われてなんだかんだいつもメールを返せない。



取引先に自分のミスを謝罪しにいったり、宴席では無理してたのしく振る舞ったり、家に帰ればふとんに倒れ寝るだけ。



久しぶりに帰郷した主人公。なつかしい家路を歩き、幼き頃を思い出す。いつの時も両親が自分を気にかけてくれていて、大切に育ててくれたことに今一度気づく。



家に着き、両親にかけた言葉は「ただいま」ではなく「ありがとう」。曲が終盤を迎えたところにコピーがIN。前向きな表情で仕事へと向かう主人公を映しCMが終わる。

今後も『想うた』シリーズでは、たいせつな人への“想い”を“うた”にのせて、「たいせつな人のことを想うこと、その時間を大切にしよう」というメッセージを伝えていきます。

## ■ 第一弾「想うた 親を想う」篇楽曲歌詞

### 『親を想う』

歌・作曲：キヨサク（MONGOL800）／作詞：篠原誠

## 歌詞 LYRIC

### 親を想う

何も知らずに 逆らっていた  
汗かく姿 見ようともせず  
世代だ時代 きっとわからない  
決めつけていた 子どもの僕は

風邪を引いても 落ち込んでても  
電話の向こう側 気付いてくれる  
温かい声 優しく背中を押してくれる  
あなたの声

今はまだいいさ 言い訳ばかり  
情けないけど 過ぎる毎日  
変わりゆく自分 急ぐ自分に  
今さら届く いつもの言葉

今だから言える 聞いて欲しい  
恥ずかしいけど 伝えたいんだ  
変わらぬ愛情 注ぐあなたに  
今なら言える 僕の想い

ありがとう  
嗚呼

## ■ 出演者／歌唱・作曲者／作詞者コメント

### ◇ 出演／北村匠海さん

#### [主人公「村上優人」を演じてみて]

お話をいただいたときは非常に嬉しかったですし、光栄でした。今回演じさせていただいた主人公「村上優人」は、自分の想いを伝えるのが苦手で、控えめな青年です。上京し、いろいろな壁にぶつかりながら、改めて親の大切さに気付いていく、そんな心温まるCMになっています。「ありがとう」、「ごめんね」といった日頃の想いは、僕自身なかなか伝えられないことも多く、主人公と自分が重なる部分がありました。村上優人を演じていく中で、改めて、親に気持ちを伝えるということをしたくなりました。みなさんにもCMを観て、「ひとのときを、想う。」という言葉は今一度考えていただけたら嬉しく思います。

### ◇ 歌唱・作曲／キヨサクさん（MONGOL800）

#### [楽曲に込めた想いや注目してほしいポイント]

「ひとのときを、想う。」という言葉どおりの、あたたかいメッセージが詰まった曲になりました。家族に対して、好きな人に対して、友達に対して、身近な人に対して、いつもなら照れくさくてなかなか届けられない想いを、この歌を歌うことで言えるのではないかと考えています。そういうあたたかい気持ちに、ほんの少しだけ背中を押せるようなCMになっています。

## ◇作詞／篠原誠さん

### **[楽曲やストーリーに込めた想いや注目してほしいポイント]**

親が子を心配するとか、子がたまに親のことを思い出して電話するとか、感謝の気持ちを伝えるとか、それ自体に独特なものはない。独特なものがないからこそ、そこが大事だと思うんです。『想うた』シリーズを通じて、人のことを一瞬でも考える、そんな時間って素敵ですよという提案ができれば良いと思っています。CM を観たり楽曲を聴いたりした人たちに、「元気になった」、「明日も頑張ろう」と思っていたきたいです。

## ■制作現場のエピソード

---

### ◇“いまっほい”若者役を北村さんが見事に演じる

昔のドラマで描かれがちな親子のわかりやすい衝突などが無い、“いまっほい”若者を主人公にすることで、より共感しやすい映像を目指していたので、まさに世代である北村さん自身が持っている感覚を大事に演じていただくようにご説明しました。北村さんは、言葉数は少なかったですが、しっかりとした姿勢で真剣に話を聞いて下さいました。現場でも監督からの指示に対して、二つ返事で「はい」と答えると、次のテイクでは、ほぼ完璧にそれが表現されていて、北村さんの「自分の演技を把握している感覚」に、スタッフが驚かされました。

### ◇ロケハン時に会った親子のエピソードをそのまま再現

北村さんが演じる主人公の実家が木材屋という設定は、ロケハン時に見つかった家のお父さんが実際に木材店を営んでいて、子供達は上京して別の仕事についているというリアルな状況を活かして作られました。子供の頃、木のおもちゃを作ってもらったという話も生きています。

### ◇シーンと同様にプリンターが動かなくなるハプニングで、北村さんの自然な表情の撮影に成功

会社のプリンター前で手間取っているというシーンを撮影した際、実際にプリンターが動かなくなってしまい北村さんが困惑している様子にスタッフから笑いが起きました。それでも、そのまま演技を続けてもらい、最終的に一番リアリティのあるテイクになりました。



## ■『想うた』スペシャルサイト公開

『想うた』スペシャルサイトでは、CM 映像、スペシャルムービーの他、登場人物紹介やグラフィック・歌詞をご覧ください。さらに、北村さん・キヨサクさんのインタビュー映像や撮影時のオフショットも順次公開予定です。

『想うた』スペシャルサイト [https://www.jti.co.jp/omouta/?utm\\_source=release](https://www.jti.co.jp/omouta/?utm_source=release)

[スペシャルサイトイメージ]

人が人を想うとき、  
それはすべてうたになる。

人が人を想うこと。  
自分のことだけでなく、  
人の気持ちを想像し、  
思い合い、認め合うこと。  
いまみんなが望んでいるのは、  
そんな世の中なのかもしれません。

私たちは今日も想う。  
そして想いを届けようとする。  
JTIはそのそばで  
みんなの想いを  
支えたいと思いました。

そこで、たいせつな人への想いを  
歌にするプロジェクトをはじめます。

第一弾は「親を想う」。  
たいせつな人を想いながら  
聞いてください。

親を想う篇  
Special Movie  
60 sec 30 sec

## ■ 出演者・作詞作曲者プロフィール

---

### ◇北村匠海 [主人公]

1997年11月3日、東京都生まれ。2008年「DIVE!!」で映画初出演。2017年「君の臓腑をたべたい」で第41回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。ダンスロックバンド・DISH//（ディッシュ）のボーカル&ギターとしても活動している。

### ◇キョサク (MONGOL800) [作曲]

1981年2月15日、沖縄県生まれ。3ピースバンド MONGOL800 の Vo & BASS, 作詞・曲を担当。ソロ活動では他アーティストとのコラボレーションや楽曲提供、プロデュースなども手掛けている。2013年より UKULELE GYPSY として日本各地を旅するなど枠に捕らわれない柔軟なスタンスで、さらなる音楽活動に広がりを見せている。

### ◇篠原誠 [作詞]

クリエイティブディレクター・CMプランナー。au 三太郎シリーズなど、マスからデジタル・店頭までのトータルコミュニケーションの構築を得意とする。三太郎シリーズで桐谷健太さん演じる浦島太郎が歌う「海の声」の作詞やドラマの脚本なども手掛ける。2015年の「クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を受賞。